

きのこ歳時記2000 今野英山

konno eizan



1999年の秋から今年の秋にかけて作った、キノコに関する俳句を紹介します。

まねかれし サクラシメジの 宴かな

昨年9月、会津高原にある荒海山麓の雑木林に入った。まず見つけたのがサクラシメジの群落。「見たせば花も紅葉もなかりけり」の中途半端な季節なのだが、何の変哲もない林の中で、そこだけが花見のような華やかな雰囲気にも包まれていた。その時思わず、さあ、我家もキノコの鍋で宴会だといんまりした。

翌日は 翔びたつばかりの タマゴタケ

同じ雑木林で殻から顔を出したばかりのタマゴタケを見つけた。家に帰るのは次の日の夕方になるため、あらかじめ採りに来ようと、姑息にも落ち葉で隠しておいた。翌日、近くの七ヶ岳を登った帰りに立ち寄ってみるとビックリ。隠したはずのタマゴタケがすっかり孵化して大きく真っ赤な傘を広げているではないか。

殺すきかと 子に責められし きのこ汁

この登山には後日談がある。タマゴタケ・サクラシメジ以外にも、ナラタケ・ナラタケモドキ・ホウキタケの一種などが採れ、味噌汁・テンブラ・煮物など茸づくしの夕食となった。

次の日から息子の下痢が4日間続いた。一日遅れで娘もまた。しかし大量に食べた親は何ともない。これ以来、我家の子供達は2度と天然茸を食べなくなった。

紫を 落葉に隠せし 乙女かな

深田久弥終焉の地の茅が岳。その登山道脇のミズナラとカラマツ林にてムラサキシメジを発見した。晩秋の雑木林の落葉の中に、気品ある紫色の姿を恥らい隠すように見せていた。高貴な生まれの姫君が都を遠く離れた田舎でひっそりと暮らしている。そんな恥じらう姫君の衣を無理やり剥がしたのは一体だれだ。

クリタケの 色濃くなりぬ 暮の秋

秋も深まった昨年11月初旬、入笠山のカラマツ林を探索した。植林の中に広葉樹の切り株が所々残っていて、そこに傘が開き濃茶色になったクリタケの群落を多く見た。その他にチャナメツムタケやキヌメリガサなどシーズンの最後をかざる茸ばかり。あと一月もすればこの林にも雪が降る。何故か感傷的となり、熱燗が恋しくなる季節である。

苔の床 はい上がり見る キノボリの夢

今年の9月下旬、富士山に行った。御殿場側の水塚から新五合目付近まで登ったが、途中で雨に会い辛い山行になった。シヨウゲンジも終わり、キノボリイグチだけがいくらかもあつた。雨宿りしながら観察すると、木の登りかたにもそれぞれ個性がある。仲間から離れて高

くまで登る奴、大木の根元に集っている奴。それぞれどんな景色が見えるのか。

立ち枯れの 樹看取りぬ ナラタケの群

10月の初旬、北アルプス焼岳から岐阜側を下った。途中はブナやミズナラの森で、立ち枯れの木を見つけては笹藪を進むとたいいナラタケが見つかる。その中の一本で直径は60cm近くあり、周りほうろの中も含めてびっしりとナラタケで覆われている樹があった。木肌は焦茶色で生気を失っているものの、見事な立ち往生である。

黄泉の道 白装束の 杉の株

11月初旬には大峰山系の八剣山に登った。この山域は昔から修験道の山として知られ、今でも山上が岳は女人禁制となっている。吉野杉の産地としても知られ、山行の半分は杉林である。

奈落の底に落ちるような急斜面の暗い杉林を降りてゆくと、スギヒラタケに覆われた白い切株が間の中から浮かび上がり、あの世への先達に見えた。

通り雨 思わずかざす マゴジャクシ

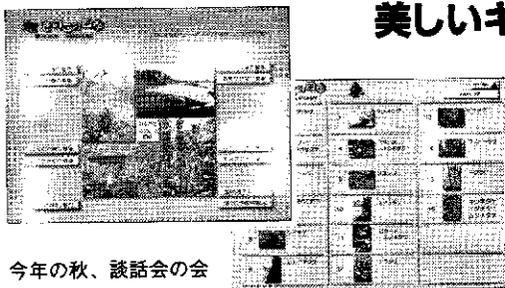
房総風土記の丘でマゴジャクシを見つけた。もしかしたらマンネンタケの方かもしれない。いずれにしてもこんな縁起のいい名前は滅多にないので、家に飾ってある。

ところで広辞苑で調べたら、屋敷に靈芝が生えるのは孫が生まれる前兆と書いてある。おいおい冗談じゃないぞ。いくら年頃の子供を持つ身とはいえ、いくらなんでも早すぎる。

美しいキノコ写真のCD-ROM 「新潟きのこの四季」

CD-Rom
de
kinoko

小島 祥子
shoko kojima



今年の秋、談話会の会員で旧知の大橋勝彦さん(新潟県刈羽郡在住)に招かれ、同じく会員の志保澤さんと2泊3日で新潟方面へキノコ採集に行ってきた。付近のキノコポイントを知り尽くした大橋さんの案内で、盛りだくさんのキノコたちに出会えたのは言うまでもありません。普段、千葉ではお目にかかれないホンシメジなど予想以上の収穫で、夜はおいしい地酒にキノコなべ、キノコ談義に花を咲かせ、実に贅沢な宴となりました。

そのとき、一緒に同行してくださったのが今回ご紹介するCD-ROMの制作者である、宮川光昭さんです。もうキノコへの情熱は誰にも負けないぞという気概が溢れ出てくるような写真を撮っていらっしゃる方です。その作品集といえるCD-ROMは、四季ごとに分けられた美しいキノコの写真の数々が見やすくレイアウトされ、キノコへの熱い思いが伝わったエッセイとでたいへん楽しい

ものになっています。

キノコを通して色々な方と交流を図りたいと言うことで千葉菌類談話会へCD-ROMを頂きました。個人的に欲しい方は直接宮川さんへ申し込んでみてください。税込で3500円です。(Win/Mac対応)

また、宮川さんのホームページ「きのこの四季」(URL=www.echigo.ne.jp/~miyagawa)の「きのこの四季便り」コーナーのホットな写真と話題が好評だそうです。ぜひご覧になってみてください。

連絡先 / 〒945-0832新潟県柏崎市関町8-37 宮川光昭
e-mail / miyagawa@echigo.ne.jp